大阪大学
THE UNIVERSITY OF OSAKA

Press Release

イベント通知　取り組み

2026 年 6 月 12 日

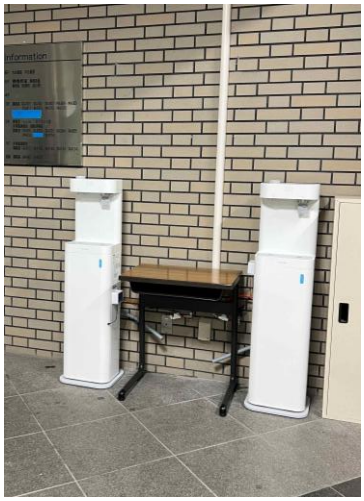
＼阪大はマイボトルで「健康」&「環境」推し／

学生との対話を起点に、給水機 2 台を豊中キャンパスに設置

―給水量・CO_2 削減量の“見える化”で行動につなげる―

【6/19(金)12:15～ 給水機設置お披露目式 @全学教育推進機構(豊中キャンパス)】

❖ 概要



大阪大学全学教育推進機構は、学生からの要望を受け、2026 年 **6 月 19 日(金)**に豊中キャンパスの全学教育推進機構 管理・講義 A 棟に、学生・教職員がマイボトル等に自由に給水できる給水機 2 台を設置します。

設置に際して、同日 12:15～12:35 に、管理・講義 A 棟 1 階にて、熊ノ郷淳総長や学生団体「阪大マイボトル推進プロジェクト Carry My Bottle」(通称:キャリボト)の学生も参加する**給水機設置お披露目式**を開催します。お披露目式では、熊ノ郷総長とキャリボト代表の三橋直央さん(工学部 3 年生)による、「ゆるワニ博士タンブラー」(2026 年4月16日プレスリリース)を用いた「マイボトル初給水」も行います。また、給水機周辺ではキャリボトが、給水量や CO_2 削減量の“見える化”など SDGs 啓発活動を実施します。



給水機の設置は、「1 年生クラス代表懇談会※1」での対話において学生から継続的に要望が挙がっていたことから、熊ノ郷総長のリーダーシップのもと、修学環境支援の一環として実現しました。

学部 1 年生の修学活動の中心となる管理・講義棟に給水スポットを整備することで、授業の合間にもマイボトル等へ給水しやすい環境を整え、熱中症対策となる「こまめな水分補給」を後押しします。あわせて、ペットボトル利用の抑制による CO_2 排出削減や、物価高に伴う学生の経済的負担軽減にもつながる取り組みです。

お披露目式の終了後、熊ノ郷総長、進藤修一全学教育推進機構長、キャリボトメンバー学生らにご取材いただけます。つきましては、当日のご参加・ご取材をよろしくお願い申し上げます。(取材申込は、6月17日(水)15時までに4ページの Web 登録フォームからお願いいたします)

❖ 「給水機設置お披露目式」概要　※詳細は 3 ページ参照

【日時】 6 月 19 日(金) 12:15～12:35 (12:00 開場)

【場所】 豊中キャンパス 全学教育推進機構 管理・講義 A 棟 1 階(ピロティ風除け前)

【参加者】

熊ノ郷淳 総長 / 田中敏宏 理事・副学長(教育担当) / 尾﨑雅則 理事・副学長(財務担当)

進藤修一 全学教育推進機構機構長 / 河原行郎 学生生活委員会委員長 / 藤田尚弥 教育・学生支援部長

「阪大マイボトル推進プロジェクト Carry My Bottle」代表 三橋直央(工学部 環境・エネルギー工学科3年生)

(司会)OU-SDGs プログラム※2 坂口愛沙 講師

❖ 取り組みの背景

近年、暑さが厳しくなる中で、学内での熱中症対策として「こまめに水分補給できる環境づくり」が求められています。給水機の設置は、こまめに水分補給できる環境をつくるだけでなく、マイボトルの利用促進によりペットボトルの利用が減ることで、製造や輸送、廃棄に伴う CO_2 排出量の削減につながります。また、昨今の物価高に伴う、学生の経済的負担の軽減も期待できます。

大阪大学全 11 学部の入学者 約 3,300 人の全学共通教育（入学から 1 年半）を担い、学生の主体的な学びを支援する全学教育推進機構では、共通教育や学修環境の改善に向けた学生と教職員の対話の場として、「1 年生クラス代表懇談会」を年 2 回実施しています。授業・カリキュラムや学修環境など全学教育推進機構が関係する事項全般について、クラス代表の意見・要望を懇談会での発言とアンケートで収集している中で、継続的に「給水機を設置してほしい」という声が挙がっていました。

❖ 取り組みの詳細

給水機の設置を求める学生からの要望を受け、進藤修一全学教育推進機構長が熊ノ郷淳総長に学生の要望を伝えたところ、学生の修学環境支援の一環として実現に向けた検討が進み、熊ノ郷総長のリーダーシップのもと全学教育推進機構が主導して、給水機 2 台を設置することとなりました。

大阪大学キャンパス内では、現在 3 か所（豊中：生協福利会館 1F、吹田：生協本部前ショップ、工学研究科 M3-212 講義室）に給水機を設置しており、本件は 4 か所目となります。学部 1 年生の修学活動の中心となる豊中キャンパスの管理・講義棟への設置は、学生ニーズに応える有意義な取り組みになるものと想定しています。授業の合間でもマイボトルへ給水しやすくなり、日常的な水分補給の習慣づくりを支えることが期待されます。また、マイボトルを持参して給水機を利用することは、健康面では熱中症対策に、環境面ではペットボトル等の廃棄量削減や CO_2 排出抑制にそれぞれ貢献します。

給水機設置場所周辺では、大学と学生が連携した SDGs 啓発活動を継続的に実施します。キャリボトの学生が中心となり、OU-SDGs プログラム担当教員のバックアップのもと、以下の取組を実施します。

- 給水機マップの配布（学内の給水機の場所を分かりやすく案内）
- 「先週の給水量・給水回数」や「累計 CO_2 削減量」を掲示し、行動の成果を“見える化”
- 学部別アンケートでニーズを把握し、今後の環境整備に活かす検討を実施

これらの活動を通じて、マイボトル利用による給水機の利用促進を図るとともに、使い捨てプラスチックごみ削減および熱中症対策に関する意識向上につなげます。

❖ 本取組が社会に与える影響（社会的意義）

本取組は、「健康（熱中症対策）」と「環境（プラスチックごみ削減・CO_2 排出抑制）」について、学生の日常行動から同時に意識向上を図る実践例です。大学が学生の声を起点に環境を整え、学生が主体となって利用促進や“見える化”を行うことで、SDGs を「知っている」から「やってみる」へとつなげます。

❖ 阪大マイボトル推進プロジェクト Carry My Bottle（キャリボト）について

大阪大学公認の学生団体。「地球にも市民にもやさしい生活をマイボトルで！」を合言葉に、2021 年の設立以来、学内のマイボトル利用促進のための啓発活動や、インフラとしての「給水機の学内設置提案」、さらに「手間が少なく、毎



日持ち歩きたくなるボトル」そのものを提供するプロジェクトなどの活動を展開。2026年 4 月に阪大生発のオリジナルマイボトル「ゆるワニ博士タンブラー」を企画・開発。（同タンブラーは 2026 年 4 月 20 日（月）より阪大生協購買ショップ各店舗で販売中。2026 年4月16日プレスリリース）

ボトルデザインは、「キャリボト」と大阪大学クリエイティブユニットとで協議を重ね、“ほっと一息”をコンセプトに、大阪大学公式マスコットキャラクター「ワニ博士」を、より日常に溶け込むようアレンジした『ゆるワニ博士』シリーズを新たに誕生させた。イラスト制作は阪大OGで漫画家の永峰ななみ先生に依頼し、複数のデザイン候補の中から学内アンケートで最も反響の大きかったものを採用。まさに「学生のリアルな声」を反映したデザインとなっている。



キャリボト ウェブサイト：https://carry-my-bottle.notion.site/

❖ イベント詳細

6 月 19 日（金）に、熊ノ郷淳総長、進藤修一全学教育推進機構長等が参加する「給水機設置お披露目式」を開催します。（会場案内図は5ページ参照）

給水機設置お披露目式では、阪大生発のオリジナルマイボトル「ゆるワニ博士タンブラー」を企画・開発したキャリボト代表の三橋直央さん（工学部 3 年生）が、キャリボトが実施する SDGs 啓発活動についても紹介する予定です。 また、熊ノ郷総長とキャリボト代表の三橋さんによるゆるワニ博士タンブラーを用いた「マイボトル初給水」も行います。

【式次第】

1. 進藤機構長 主催者挨拶
2. 熊ノ郷総長 挨拶
3. 阪大マイボトル推進プロジェクト代表 挨拶
4. 除幕式
5. 熊ノ郷総長とキャリボト学生によるマイボトル初給水

※給水機設置お披露目式終了後に、学生を対象に「ゆるワニ博士タンブラー」等が当たる「ゆるワニ博士タンブラー抽選会」を実施します。

❖ 用語説明

※1 クラス代表懇談会

学生の学びや生活環境について意見を聞くために、全学教育推進機構（以下、全教）が年 2 回（6月、12月）実施する教員と学生との対話の場。この懇談会では、授業・カリキュラムや学習環境など全教が関係する問題全般について、クラス代表の意見・要望を発言とアンケートで聞いている。それらを分析し、改善すべき問題点は改め、共通教育に活かせるものは活用して、より充実した共通教育の実現をめざしている。

2025 年第1回クラス代表懇談会では、1 年生のクラス代表 78 名、全教教員のべ 29 名（2 日間、以下すべて 2 日間ののべ人数）、全教職員 8 名（教務係 4 名を含む）、アルバイト学生 7 名、来賓としてマルチリンガル教育センター教員 4 名、附属図書館職員 4 名、キャンパスライフ健康支援・相談センター4 名、学務情報係 2 名、大学生協担当者 8 名が参加し、履修に関わる情報に関する意見、教室の設備や充電スポットに関する要望、語学の授業に関する意見、海外留学相談や多言語カフェに関する要望、図書館の利用

時間や学習環境に関する意見、学食の価格や大学生協の営業時間に関する要望をはじめ、多くの意見が寄せられた。

2025 年度 第1回(春夏学期)一年生クラス代表懇談会

https://www.celas.osaka-u.ac.jp/celas/gen-educ/class-mtg 2025-01/#report

※2　OU-SDGs プログラム

学部初年次から履修できる SDGs 関連科目群を学び、所定の単位を修得した学生に修了認定証を授与する大阪大学の学部教育プログラム。学んだことを社会課題の理解や行動につなげることをねらいとする。

OU-SDGs プログラムウェブサイト　https://ou-sdgs.celas.osaka-u.ac.jp/

❖ SDGs目標



❖ **会場案内図**

全学教育推進機構 管理・講義 A 棟 ピロティ風除け前（豊中キャンパス）

https://www.celas.osaka-u.ac.jp/facilities/

豊中キャンパス構内図



全学教育推進機構 管理・講義棟フロアマップ（1階）

